

【東京都神津島村】

校務DX計画

神津島村では、令和2年度から児童生徒に学習者用端末を配布し、従来の授業スタイルを維持しながら、GIGAスクール構想の実現に向けて取り組んでいます。

また、統合型校務支援システムとして令和6年4月1日に本格稼働し、学校におけるグループウェア機能、教務系、学籍系、保健系などの情報を一元管理及び共有することで、校務における業務負担の軽減による教育の質の向上や情報セキュリティ面での向上が図られております。

このように、各種デジタル化・オンライン化を進めてきましたが、学校現場においては、依然として紙ベースの資料が多くみられるのも事実です。そのため、業務の円滑化・効率化の観点から、各種デジタル化及びペーパーレス化を積極的に進めていく必要があります。

「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえつつ、具体的な取組みを次のとおり定めます。

1. 校務改善のためのクラウドサービス・ツールの活用

学校では、児童生徒に学習者用端末が導入され、Google Workspace の各種アプリや学習eポータルサイト、オンラインドリルを活用しながら授業を実施しております。

また、生成AIの活用についてはICT支援員の協力のもと、生成AIの利用に関するガイドラインを定め、リスクとメリットについて十分検討しながら校務および教育活動への導入について検討を進めてまいります。

2. FAXおよび押印の見直し

令和5年12月に文部科学省が公表した「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検結果の報告によると、一部でまだ保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類があり、クラウド環境を活用した校務DXを大きく阻害していることが指摘されていることから、災害や教育ネットワークの不具合時などFAXの方が電子メール等より効率的な場合を除き、FAX・押印の原則廃止に向けて、継続的な見直しを行ってまいります。

3. ペーパーレス化の推進

現在、村ではペーパーレスの会議を推進しており、村議会においても資料の電子化を実施しております。

また、各学校の職員会議等においても、ペーパーレス化を推進するとともに、保護者・地域への資料配布や、保護者面談の日程調整等について、未だに紙媒体で行っているものに対して電子化の取組を推進し、教職員の負担軽減を図っていきます。

4. 次世代校務 DX 環境の整備について

現在、村では総合型校務支援システムを導入しており、名簿情報の不必要な手入力作業の一掃等、校務の効率化に取り組んでおります。

また、「GIGA スクール構想の下での校務 DX について～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」において方向性が示された「次世代校務 DX」環境（ダッシュボード機能の充実や帳票類の標準化等）を目指し、今後必要な環境整備について検討を進めてまいります。